

池田市緑化推進委員会だより

No. 64 (令和8年3月1日)
池田市緑化推進委員会
(事務局・池田市都市整備部
みどり農政課)
Tel 754-6686 Fax 752-6572

第14回「寄せ植えコンテスト」開催に寄せて

主催 池田市緑化推進委員会

場所 池田城跡公園

第14回「寄せ植えコンテスト」は、令和7年11月1日(土)2日(日)の2日間、池田城跡公園にて開催されました。

この「寄せ植えコンテスト」は、緑化推進委員会の主要な活動の一環として平成24年から開催しております。令和3年からは、場所を池田城跡公園へと移し、今回14回目を迎えられました。

開催日前日は大雨でしたが、2日間とも天候に恵まれ、多数の来場者がお見えになり受付で花の種を配布させていただきました。

市民の皆様の寄せ植えコンテストの関心の大きさが感じられました。このようなイベントが多くの市民の皆様のご支持を頂ければ、一層華やかな催し物になります。

出展者の創意工夫された、どの作品にも、自然を慈しむ気持ちと季節を楽しむ気持ちがあふれており、来場者の皆様の心を和ませてくれました。

このような体験を通じ緑にふれあう良い機会となれば幸いです。

本イベントの開催にご尽力いただきました関係者の皆様、また出展者の皆様に厚く御礼申し上げます。



金賞
team. T

宮内朋子 様 谷口実由 様



銀賞

福井 里奈 様



銅賞

東 博子 様



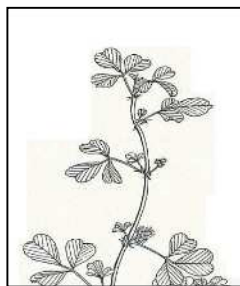
会長賞

多田 隆一 様



池田城跡公園賞

浅野 江里子 様



午(ウマ)年にちなんで

身近な動物の一つでウマと名前がついている植物がいろいろありますが、その中にウマゴヤシ(馬肥やし)があります。江戸時代に良質の牧草として欧州より渡来しました。現在では牧場より拡がり全国的に分布しています。池田市内でも田のあぜ道や休耕田で見ることができます。葉はシロツメグサに似ていますが、花は黄色い小花なのですぐに見分けられます。特に細河地区に多いようです

地域とはぐくむ池田中学校の緑

池田中学校 教頭 山田智司

池田中学校には、四季の移ろいを感じられる豊かな緑が広がっています。

春の入学式は正門で桜の木が迎えてくれます。運動場に沿って満開の桜は見ごたえたっぷりです。

校務員さんの手入れによる玄関前の植栽は学校を訪れる人を歓迎しています。

5月は五月が咲き誇り、梅の木やかりんの木などの果樹も季節を感じさせてくれます。

また、中庭や花壇では、美化委員が季節ごとの花を植えており、色とりどりの花々が学校生活に明るさを添えています。

地域の方々が技術棟前で四季折々の野菜を育ててくださり、生徒も授業の一環として栽培に取り組んでいます。地域の幼稚園がお散歩に訪れることもあります。園児と地域の方、生徒の交流も見られ、学校と地域と一緒に環境をつくっていることを実感できます。



教室の窓から見える風に揺れる木々や、花や野菜が育つ様子は、忙しい毎日の中で生徒や教員の心を落ち着かせてくれる存在です。これからも教職員、生徒、地域の方と協力してこの環境を守っていきたいです。

渋谷中学校 花いっぱい運動と植物を通じての交流

渋谷中学校 教頭 箱崎昭雄

地域の方に様々な形でご支援いただき、渋谷中学校では、花いっぱい運動を実施することができています。

大きな活動としては、年3回花の苗をプランターに植えたり、プラグ苗をポットに移し替え、育てたポットを地域へお渡ししたり地域の施設にも花を届ける活動を続けています。校内では、各クラスがプランターの花を育てたり、これからはより生徒主体で、花壇の管理維持をしっかりとりするような取り組みを考えているところです。



また、令和6年度には、中庭がリニューアルされ、それまでにあった庭園とは雰囲気を変えた形で、学校の景観の中に植物がある環境が整えられました。



これからも、生徒様々な活動の一つとして、植物に触れ、土に触れる活動を大切にするとともに、地域の方との交流を深めていけるような機会を増やしていければと思います。



池田市にクビアカツヤカミキリが侵入

池田市緑化推進委員会 緑の保護部会

池田市と周辺にもクビアカツヤカミキリが侵入しました。

2015年に大阪府内で最初の被害が確認され、2025年にはついに大阪北部の池田市にもついにこの虫が侵入しました。被害地は池田市北部と近接した川西市の猪名川沿いで、被害の状況から侵入は少なくとも数年前に遡ると見られます。

クビアカツヤカミキリ（学名：Aromia bungii）

コウチュウ目・カミキリムシ科のこの虫はサクラ・ウメ・モモなどバラ科樹木の生きた木を加害しからせてしまう害虫で特定外来生物（飼養・保管・運搬・輸入・野外への放出などが原則禁止）と生態系被害防止外来種（その他の総合対策外来種）に指定されています。

伐採を含め薬剤の使用や成虫の駆除など様々な防除対策が試みられていますが、決め手となるような対策は未だありません。残念ながらじわじわと日本各地で被害が広がっています。特に大きく古い木ほどこの虫に狙われやすいのですが、その一方で若い木は比較的被害が少ない傾向があります。そこでこれを逆手にとり、被害が出始めた太いサクラを枯れてしまう前に早めに伐採し、その切り株や根の部分から再び生えて来る若い枝を伸ばし、木を再生する“萌芽更新”が各地で試されています。



編集：池田市緑化推進委員会だより部会